日本の神様と舞い踊ろう

～地域に根付く神楽と神舞～

鑑賞者無料ご招待(全席指定)〈200名様〉

令和4年2月20日〈日〉

- ◆ 15時開演～17時終演予定(開場14時半)
- ◆ 会場…大濠公園能楽堂(福岡市中央区大濠公園1番5号)

【参加団体】… 愛宕神社（福岡市西区）／太祖神楽（篠栗町）
福井神楽（糸島市）／岩屋神楽（豊前市）

［主催］ 公益財団法人 福岡文化財団 THE FUKUOKA CULTURAL FOUNDATION

ココロがある。コタエがある。 西日本シティ銀行 ©GROOVISIONS

昨年の映像を
こちらからご覧いただけます。

［後援］ 福岡県、福岡県教育委員会、公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団

◆参加団体のご紹介（順不同）◆

＜神　舞＞

愛宕神社／福岡市西区　【演目】「浦安の舞（うらやすのまい）」

愛宕神社は日本三大愛宕で有名で、福岡最古の歴史があります。御祭神は、伊弉諾尊、伊弉冉尊、火産靈命、天忍穂耳尊、宇賀魂神、素戔嗚尊、日本武尊をお祀りし、縁結び・厄除・商売繁盛等全ての御祈願に御利益があります。初詣は50万人の参拝者で大いに賑わい、神社一の桜の名所です。「浦安の舞」は、平安を祈る巫女神楽であり、愛宕神社は正月・春季・夏季・愛宕神社創建を祝う秋季例大祭の際に平安無事を祈り奉納されております。

＜神　楽＞

太祖神楽／篠栗町　【演目】「四剣の舞（しけんのまい）」

慶長年間（1596～1615）に福岡藩主黒田長政が神道集団の統合策の一つとして、各郡毎に神職による神楽座を組織させ、糟屋郡の総社としての役割をもたせ6神を太祖神社に合祀奉納させました。明治維新と共に神職による神楽座は解体されましたが、大正3年（1914）、神楽の名手といわれた太祖宮の神官佐々雪（さっさせつ）が氏子たちに伝授し、現在に受け継がれてきました。現在は「榊」「御幣」「四手」「平手」「蟇目」「四剣」「磐戸」「蛭子」の八舞の中から演目を選んで、太祖神社の春季（4月）、秋季大祭（10月）に合せて神社内の神楽殿にて太祖神楽の奉納を行っています。

福井神楽／糸島市二丈福井 福井白山神社（糸島市指定無形民俗文化財）　【演目】「弓の舞（ゆみのまい）」

明治20年に氏子-青年・壮年11人が舞っていたという記録がありますが、いつ頃から始まったかは定かではありません。筑前国田島郷から神楽師を迎えたと伝わっています。明治の終わりには一度は途絶えましたが大正14年に復活、昭和32年頃までは精力的に舞われていた記録が残っています。その後、神楽師の高齢化に伴い、しばらく中断、昭和48年1月、福井区民200世帯が一丸になって「福井神楽保存会」を結成し見事に復活させ、毎年5月第二日曜日に奉納されています。現在は24演目ですが、「弓の舞」や「龍の宮」など、他の芸能や別系統の神楽の要素を多く取り込んだ神楽です。

岩屋神楽／豊前市　【演目】「駈仙（みさき）」

旧豊前の国に伝えられる「豊前神楽」は2016年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。その歴史が記録に現れるのは江戸時代になってからですが、室町時代には山伏たちによって演じられていたと考えられています。神楽の主役は駈仙（御先）と呼ばれる鬼で、多くの演目に登場します。人々は子どもたちを鬼に抱かせることで無病息災を祈り、鬼がもつ不思議な力に暮らしの安寧を求め、神楽を奉納したのでしょう。

お申込み方法　2022年 1月14日（金）必着

1枚でお二人様までお申込み頂けます。ご来場者全員の①お名前 ②フリガナ ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥年齢 ⑦メールアドレスを明記の上、お申込みください。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

●ハガキ　宛先　〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1-10F　西日本新聞イベントサービス内「日本の神様と舞い踊ろう」事務局

●WEB　インターネットをご利用の方は、下記フォームよりお申し込みいただけます。（PC・スマホ応募可能）
https://fihb.f.msgs.jp/webapp/form/22521_fihb_197/index.do
スマホの方はコチラから

●FAX（FAX送付先：092-731-5210）

FAX専用お申込み用紙　※このまま切らずにお送りください。

招待券送付先	■フリガナ ■お名前	■年齢	ご同伴者様	■フリガナ ■お名前	■年齢
	■ご住所　〒			■ご住所　〒	
	■電話番号　—　—			■電話番号　—　—	
	■メールアドレス			■メールアドレス	

●ご記入いただいた個人情報は、本イベントの運営以外には使用いたしません。　●当選者には2月初旬に直接招待券を発送し、発表とかえさせていただきます。

ご来場・ご観覧に関する注意事項（※必ず右記の注意事項をご確認の上、ご応募ください。）

会場では、ご来場者および公演関係者の健康と安全を最優先とし、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に努めます。

- 少しでも体調がすぐれない場合は、ご来場をお控えくださいますようお願い申しあげます。
- 必ずマスクを着用の上、ご来場及びご鑑賞ください。マスクを着用されていない場合、入場をお断りいたします。
- 当日、受付時に検温を実施いたします。37.5℃以上の場合は入場をお断りいたします。
  また開催日の2週間以内に37.5℃以上の発熱、新型コロナウイルス陽性者との濃厚接触があった場合のご来場はご遠慮ください。
- 入場時に必ず、手指の消毒をお願いいたします。
- 新型コロナウイルス感染防止のため、指定席以外でのご鑑賞はお断りいたします。
- ロビーなどでは密を避け、他のお客さまと出来るだけ距離を取っていただきますようお願いいたします。
- 新型コロナウイルスの感染拡大状況や今後の社会情勢により、やむを得ず急遽公演を中止にする場合がございます。

お問合せ　西日本新聞イベントサービス内 日本の神様と舞い踊ろう事務局　TEL 092-711-5491（平日のみ 9:30～17:30）